

大阪工大通信 およど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website▶<https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No.279

2022年3月



誇りと 自信を胸に

大阪工業大学 学長 井上 晋

皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。この2年間は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学生生活もさまざまな制約を受け、思うように行動できなかったことが多々あったかと思います。そのような状況においても学修や研究活動に注力され、この日を迎えられることに対し深く敬意を表します。

さて、現在は将来の予測が困難な時代と言われていています。新型コロナウイルスについては言うまでもなく、30年以内に発生する確率が70~80%とも言われている南海トラフ巨大地震など、想定外の事象に対して適切に、かつ臨機応変に行動することが要求される時代であると言ってもよいでしょう。しかし、心配することはありません。皆さんには卒業・修了という人生の大きな岐路において、様々な困難を克服しその進路を自ら決定したという実績があります。もちろん、それは自身の力だけではなく、多くの方々からの協力や指導があってこそかもしれません。しかし、適切な協力や指導をいただけることも、人としての力であると言えるのではないのでしょうか。

社会へ出られた後も、皆さんは大小さまざまな困難に直面することになるでしょう。その際には本学で学んだ誇りと自信を胸に事にあたっていただければと思います。皆さんにはその力があります。学園創立100周年を迎えるに際し、伝統ある本学の遺伝子をもつ卒業生・修了生として社会へ羽ばたいてください。

健康にはくれぐれも留意され、活躍されますことを祈っています。

CONTENTS

P2
卒業生に贈る言葉
P3~6
卒業生特集

P7
常翔学園創立100周年記念コンサートで
本学の学生が演奏 ほか
P8
大学院の奨学金制度について



副学長
(教育・研究改革、
学生支援、産学連携担当)

岡山 敏哉

社会をリードする人になってください!

ご卒業・修了おめでとうございます。皆さんは、この2年間、もどかしい思いを抱きながら学生生活を送る一方で、これまでの人生の中で、これほど社会の出来事に注目し、逆に社会から、どう行動すべきか、と問われた時期はなかったのではないのでしょうか。この現実を社会に出る前の貴重な経験と捉えて、これからは社会人としての自覚と責任を持ち、すばらしい社会を実現するリーダーになってください。皆さんの今後のご活躍を心から祈っています。

卒業生に贈る言葉



学長補佐
佐野 睦夫

新たなことに興味を持ち価値を創造できる人に

ご卒業・修了おめでとうございます。まずは、今まで支えてくださった保護者の方々に感謝の意を伝えてください。コロナ禍の中で、オンラインによる授業や就職活動などが日常化し、働き方も大きく変わりました。このような変化の時代であるからこそ、アンテナを高くし、新しいことに興味を持ち、新たな価値を創造できる人材になってください。きっと、夢ある未来を切り拓くことができると思っています。皆さんのご活躍を祈念しています。



工学部長
(研究科長兼任)

森實 俊充

素晴らしい未来があなたに訪れますように

ご卒業・修了おめでとうございます。皆さんの大学生活はコロナ禍により大きく変化しました。オンライン形式による授業、就職活動、研究指導を余儀なくされるなかで、これまでにない急激な環境変化を無事に乗り越えることができたのではないのでしょうか。皆さんの多くは学生生活を終えてこれから社会に出ていくわけですが、この困難を乗り越えた経験はかけがえのないものとなるでしょう。今後も社会の変化に順応しながら、立派に活躍されることを楽しみにしています。「禍福は糾える縄の如し」卒業・修了される皆さんの素晴らしい未来を祈念しております。



ロボティクス&デザイン工学部長
(研究科長兼任)

井上 明

これからの時代を創るのは皆さんです!

ご卒業・修了おめでとうございます。昨今の社会情勢は説明不要かと思えます。このような先が見えない時代だからこそ、これまでの前例や慣習にとらわれない全く新しい「モノ・コト」が生まれていく非常に大きなチャンスです。そしてこれからの時代を創るのは誰かではなく皆さん自身です。自分に自信を持ち、焦らず、慌てず、自分の頭で考え、そして行動してください。皆さんの将来は必ず素晴らしいものになることでしょう。社会で活躍する皆さんの姿をこころからいつも応援しています。



情報科学部長
(研究科長兼任)

塚本 勝俊

あなたの輝く未来に向けて

ご卒業・修了おめでとうございます。デジタル化した新しい社会が皆さんを「創造する人」として待っています。まずは保護者の方々、これまで支援くださった方々に感謝の意をお伝えください。大学・大学院で学んできたことはもちろん、プロジェクトや課外活動で培った考える力、新しく創造する力、そしてコロナ禍という逆境を乗り越えてきた経験は、これからの皆さんの仕事や生活の中でかけがえのないベースとなります。新しい技術や社会の変革が速度を上げて登場してきます。これまで以上に新しい知識や考えを吸収し、どんな困難も切り開ける力に磨きをかけてください。未来にわたって輝く皆さんを期待しています。



知的財産学部長
(研究科長兼任)

林 茂樹

10年後のありたい自分に向かって!

皆さんご卒業おめでとうございます。大学時代の楽しい思い出を胸に、新社会人として元氣よく羽ばたかれると思います。社会に出た後、常に夢や志を持って大きな飛躍を目指してください。人生は毎日の積み重ねです。常に笑顔絶やさないように心掛け、周りに感謝し、困難な中にも良いところを探し、楽しく生活しましょう。環境の変化を常に注意し、先を読んで準備していれば、時間の経過とともに大きな目標が見えてきます。仕事に楽しさややりがいを感じながら、10年後のありたい自分像を持ち、その実現に向かって、常に夢を追い求める幸せな人生を歩んでください。

卒業生特集



大学生活で得たこと



文化会・その他

城北祭実行委員会
工学部 都市デザイン工学科

豊田 健太

就職内定先

滋賀県庁

人との関わりの大切さ

学園祭実行委員での活動も含め、大学生活でたくさんの方と関わる機会がありました。友達や仲間ができたことはもちろんですが、初対面の人と一緒に仕事をするということが大きな経験でした。1つ1つの出会いで学ぶことも多くありました。また、逆に学んだことを誰かに伝えるということもできました。多くの人々と関わることで、人として少し成長することができたと思います。

仲間の支え

私は学園祭実行委員会に所属していました。学園祭の参加団体、学生課の方々、イベント業者、そして実行委員会のメンバーと協力して学園祭を作ってきました。特にコロナ禍での学園祭は開催することさえ叶うか分からない状況で何度も中止の選択を考えました。そんな中で支えてくれる仲間がいて、伝統ある学園祭の歴史を途絶えさせないという気持ちを共有し、無事開催することができました。この経験は一生の誇りです。



学園祭の歴史を途絶えさせないという気持ちを共有し、無事開催することができました。この経験は一生の誇りです。

責任を持つ

3年生時に実行委員長を務め、初めてクラブの部長を経験しました。自分の決定したことが部としての意見となるので、何事にも責任を持って行動するように心掛けました。今後は県の職員として県土の安全を守る責任が問われるようになります。この経験を忘れず、より自覚をもって、誰にも誇れるような仕事をしていきたいです。



4年間を通して



体育会

漕艇部
工学部 応用化学科

脇坂 琴音

就職内定先

サンスター技研株式会社

相手の気持ちに立つ

入部当初はただ仕事をこなすだけで選手の気持ちもわかりませんでした。ある日、試合終わりに「いつもありがとう」と声をかけてくれたことで、マネージャーとしてのやりがいを感じ、選手がいま何を必要としているか常に考えるようになりました。そこから、感謝してもらえることも増え、信頼関係も強くなっていきました。選手の気持ちに立つことで、試合で直接戦うことは出来なくても、気持ちを1つにして戦う楽しさを知りました。



今までとは違う1年

コロナで今まで当たり前だった合宿生活や練習が出来なくなりました。私も幹部としてマネージャーとして出来ることは何か考える日々が続くようになりました。目の前の試合がなくなり、選手の目標もやる気もなくなる中で、何度もみんなで話し合いを重ね、様々なことに取り組みました。1人1人のやる気がチームに

影響を与え、今まで以上に団結力のあるチームになっていきました。そして自粛後初の大会ではメダル獲得という結果に繋がり、今までのメダルとは違う感動を味わうことが出来ました。



支えること

マネージャーという経験を通して、支えることの楽しさに気づきました。そして「人々の生活を支えたい」それが私の軸となりました。私の仕事が誰かの支えになるかもしれないと思えば、どんなに苦しいことがあっても乗り越えられると思ったからです。このことに気づけたのも、かけがえない仲間とかけがえない時間を過ごすことが出来たからです。この経験を宝物にして、春からも頑張っていきたいと思っています。



プロジェクト活動からその先へ



モノラボプロジェクト

ロボットプロジェクト
ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科

小林 流我

就職内定先

株式会社ダイフク

第19回レスキューロボットコンテストで レスキュー工学大賞受賞

2019年8月に開催された第19回レスキューロボットコンテストでレスキュー工学大賞を受賞した時の感動は今でも忘れられません。大会に向け活動していく中で、アイデアが浮かばなかったり、操縦がうまくいかなかったりと何度も心が折れそうになりました。そんな時には、チーム全員でお互いを支えあい、何度も乗り越えていくことで、チームの絆が高まっていきました。そんなチーム全員で掴み取った賞であったため、受賞の感動はかなりのものとなりました。



チーム活動の難しさやりがい

チームで活動することの難しさ、それと同時にやりがいを学びました。ロボットプロジェクトでは10数人から20数人で数台のロボットを製作します。そのため、1台のロボット製作に数人が関わることになり、お互いの意見を合わせることや担当箇所による連携など製作段階で困難がいくつもあります。だからこそ、ロボットが完成した時のやりがいは大きなものとなります。今後、会社で働く上では、多くの人でプロジェクトを動かすことがあります。その時には、ロボットプロジェクト活動で培ったチーム活動のノウハウを活かし、より良いものとして成長していきたいと思います。



1人の技術者としての成長

1人の技術者として自己研鑽を怠らず、向上心を持って常に成長していきたいです。私は4月から社会人として新たな生活を迎えます。会社で技術者として技術を学び、より良い製品づくりに貢献したいと思います。しかし、会社で働くことで、雇用されていることに甘えることなく、その時の自分の技術に満足することなく、1人の技術者として常に技術を磨いていき、成長していきたいです。



挑戦し、新しい人生を切り開く



外国人留学生

工学研究科
電気電子・機械工学専攻
オウキョク
王 旭

就職内定先

株式会社村田製作所

留学生生活を振り返って

来日する前に母国の会社に勤めていましたが、自分自身を磨き、さらなる高みを目指すために、日本留学を決意して会社を退職しました。日本に来た当時は挨拶すらまともにできなくてとても不安でした。そんな私をたくさんの方々が助けてくださいました。だんだんと日本語が自由に使えるようになるにつれて、日本という国をもっと見て知りたい気持ちが強くなりました。京都や東京、北海道など日本各地に行き、貴重な思い出をたくさん作ることができました。そして大学院では授業や研究、就職活動などに没頭する毎日を送り、気がつけばもう課程修了の時期です。



コロナに負けず

約2年前から新型コロナウイルス感染症が流行し、今も終息が見通せない状況です。感染リスクを最小限に抑えるためにアルバイトを控えていたため、日本政府や大学からの経済的支援はとても助かりました。常に感染への不安が伴う2年間でしたが、コロナに感染しないよう気を付けながら勉学と研究に励み、そして就職活動も無事に終えることができ、満足した結果といえます。大阪工業大学で勉強できたことはとても嬉しく思っていますし、これから入学する外国人留学生たちも充実した大学生活を送れるよう願っています。

気を引き締めて再出発

4月からもう一度社会人としての生活が始まります。懐かしい感じはしますが、社会は大学のように甘くないことも分かっているつもりです。大学院の2年間で学んだ材料や機械に関する専門知識を新しい職場で活かし、電気電子部品材料、半導体材料の分野で高品質かつ高性能な商品を開発したいと思います。将来は日本国内だけでなく、世界中のどこでも自分の開発した商品を見かけられるよう頑張ります。



笑顔あふれる4年間



梅田キャンパス

ロボティクス&デザイン工学部
ロボット工学科

山成 映実

就職内定先

オブテックス株式会社

出会い

周りの人たちに助けられた4年間でした。授業についていくことができず悩んでいた私に付き添って勉強を教えてくれた友人、卒業研究で全く知識がなかった私に理解できるまで優しく教えてくれた先輩方や同期の仲間に出会えたこの大学生活はとても幸せでした。4年間苦しいこともたくさんありましたが、それ以上に楽しく実のある日々でした。何事もチャレンジして人との出会いを大切に毎日楽しく素敵な大学生活を過ごしてください!!



就活を成長の糧に

就職活動を通して、自分に自信を持つことができるようになりました。私はインターンシップなどで他の人と自分を比べてしまい、悩んだ時期がありました。その時に、私はその人たちに何が勝っているのかを考えることで少しずつ自信がついていきました。そのおかげで志望企業の面接を受けている人の中で自分が1番有能であると思いながら臨むことができました。自信は自分で作れるものです。自信を持ってチャレンジしていきましょう!



自分らしく毎日笑顔で

私は“毎日笑顔”をモットーにしています。辛い時、一人で悩んで落ち込んでいても前に進みません。悩んでいるときはひとりにならず周りを巻き込んで笑顔で楽しく解決することで、辛かったことも思い出に変えたいと考えています。社会に出て、自立した大人になることももちろん大事だと思いますが、周りの力を借りながら楽しく笑顔で仕事ができるような社会人になりたいです。



自ら扉を開け!



枚方キャンパス

情報科学部
情報システム学科

中野 匠

就職内定先

NTTデータ先端技術株式会社

部活動での経験

小さい頃から続けてきたダンスを大学でもやりたかったので、ストリートダンス部に入部しました。学園祭のステージで踊っている時のあの楽しさは今でも忘れられません。1年後には部長を任せられ、何か新しいことをしたいと必死でした。主に変わったところは「外部イベントへの初参加」と「SNSを活用した情報発信」です。どの取り組みにも不安はありましたが、この経験はとても貴重なものとなりました。新しい取り組みに必死でついてきてくれたメンバーには、感謝しています。



大学で学んだことをアプリケーション化

大学の講義で学んだ“オートマトン”の学習ができるアプリケーション開発を卒業研究として取り組みました。アルゴリズムが思いつかず、お風呂でずっと考えていたこともありました。プログラミングをしている時は、長い時間考え込むことが多いです。しかし、長い時間考えたプログラミングが上手くいった時は、ガッツポーズが出るほど嬉しいです。この経験を通じて、諦めずに取り組むことは大事だと感じました。自分が作成したアプリケーションを通して後輩たちの学習サポートになれば良いと思っています。



僕の4年間

この4年間、学外プロジェクト活動に参加したり、学内プロジェクトに参加したりとたくさんの挑戦をしました。そこには多くの出会いがありました。そして学び、発見へとつながりました。失敗を恐れず、とりあえず挑戦してみる、やってみる。そこから新たな出会いが生まれ、学び、発見へとつながるかもしれない。春から社会人になりますが、挑戦する気持ちを忘れず、成長していきたいと思っています。



卒業生特集

大学生活で得たこと



大学院生

知的財産研究科
知的財産専攻

山下 絵理華

就職内定先

TDK株式会社

成長の糧

自身の成長の糧となった大学生活だったと思います。特に、私はリーダーを務めていた開放特許を利用したビジネスアイデアコンテストにあたって成長を実感することができました。アイデアを練るにあたり、技術面や案自体に実現の可能性があるか否かを考える必要があったため、問題解決力や行動力を培うことができました。最終的に、コンテストにおいて審査員特別賞を受賞することができたので良い経験となりました。



インターンシップから就活は始まっている

就職活動ではインターンシップの時から就活の場であると思い、真剣に取り組んでいました。その結果、大変ありがたいことに企業側からも推薦をもらうことができました。感染症対策のため、面接もオンライン面接で、慣れない環境のため緊張することもありましたが、先生方との面接練習で培った経験も踏まえ面接に臨んだ結果、内定をいただくことができました。インターンシップ時から就活を意識しておいて良かったと思っています。

向上心のある人に

私は何事にも挑戦する向上心のある人間になりたいです。大学に入学する前は、人前で発表することが苦手でしたが、自分自身を変えたいという思いから、学生時代では団体活動等において人前で発表する機会を増やしました。その結果、発表することに慣れることができ、苦手意識がなくなりました。これから社会人になっても失敗を恐れずに様々なことに挑戦し続けて行きたいと思います。



教育研究施設の拡充をすすめています

工学部附設のナノ材料・マイクロデバイス研究センターは1987年の開設以来、30年以上にわたって材料・デバイスに関わる先端研究、ならびに教育の場として機能してきました。文部科学省事業として、これまでに2006年度「ハイテクリサーチセンター」、2011年度「戦略的研究基盤形成支援事業」および2017年度「私立大学研究ブランディング事業」の選定を受けて、研究設備の充実を図りながら本学工学部の研究拠点としての機能を果たしています。

本センターでは、新たに「マテリアル分析部門(仮称)」を設立し、最新のX線光電子分光装置(XPS)の導入をすすめています。「材料デバイス開発部門(仮称)」との、1センター2部門とすることで教育研究環境が拡充されます。これにより、機電系学科に加えて応用化学科や環境工学科における研究環境も更なる充実に繋がります。

これまで、工学部では、2019年度に建設した3号館に建築学科および都市デザイン工学科の実験・実習エリア、2020年度に建設した4号館に、電気電子システム工学科、機械工学科および電子情報システム工学科の実験・実習エリアを設置してきました。



研究の様子

これからも研究活動の高度化と合わせて、教育活動の充実を果たす環境整備を行っていきます。



【枚方キャンパス】 「樟葉駅」～「北山中央」間の 直通バスに関するお知らせ!

情報科学部では、2022年度から「樟葉駅」～「北山中央」間にて、直通バスの運行を開始します。

この直通バスは、1時間目開始に合わせた時間帯で2便運行を予定しています。また、「樟葉駅」～「北山中央」間で通常の路線バスが約30分程度かかるのに対し、直通バスは約17分と大幅に時間が短縮されます。

この直通バスを利用するには、現金・ICカードもしくは京阪バスが販売するバス定期券が必要となります。この定期券は常翔ウェルフェアにて販売する予定です。

※現在販売している「長尾」～「北山中央」間の大学独自のバス乗車券では利用できません。

現在、「長尾」～「北山中央」間で運行している直通バスに用いる大学独自の乗車券については、2025年3月をもって販売を終了する予定です。





SDGsアート展に本学から23作品を応募 4作品に優秀賞

ATC (アジア太平洋トレードセンター株式会社) が主催する「SDGsアート展」が12月11、12日に大阪南港のATCギャラリーで開催されました。本学からは工学部、ロボティクス&デザイン工学部、情報科学部とロボティクス&デザインセンターの卒業研究や授業の課題、課外活動などで制作した23作品を出展。このうちロボティクス&デザイン工学部の4作品が優秀賞に選ばれました。

「SDGsアート展」はATCが実施する「ATCイノベーションウィーク~これからの命のためにできること~」の一環で今年初めて開催されたもので、2025年に開催される大阪・関西万博に向けたイベントとして位置づけられています。2日間でのべ455名の来場があり、来場者の投票で上位5作品に優秀賞が授与されました。終了後の表彰式では出展作品とは別に会場で展示・実演されていた警備員ロボットや自立走行ロボットなども勢ぞろいし、受賞者を祝福しました。



会場の様子



優秀作品「点字で遊ぶ」



表彰式で勢ぞろいしたロボット

優秀賞の作品は次のとおりです。

「ウェルネス研究室のSDGs#3」
「ミュージックジェットコースター」
「点字で遊ぶ」
「ロッキングチェア」



学生が明治・大正の隠れた名作小説を復刊

知的財産学部の学生が、明治・大正の隠れた名作小説を復刊しました。著作物の保護期間が満了した小説は、著者の許諾を得ずに出版することができます。漱石、芥川などの著名な作家の作品は大手出版社が文庫などで出版しているので、気軽に読むことができます。しかし今では品切れ、絶版となったまま埋もれた名作も多数あります。知的財産学部水野ゼミの学生は、これらの埋もれた名作の復刊を実践的研究活動として行っています。2022年1月には、泉鏡花と川上眉山の作品を文庫本で復刊しました。両作共、全集に収録されて以後、出版されることの無かった隠れた名作です。昭和初期に出版された本から、学生がパソコンでテキスト入力し、DTPソフトで版面を作成し、文庫本に仕上げたものです。1月16日に文学フリマ京都で先行販売を行い、ほぼ完売しました。2月には増刷が予定されており、一般発売予定です。販売店舗などは、水野ゼミの下記SNSでお知らせします。



文学フリマ京都
「さくらむすび」販売

大阪工業大学知的財産学部水野ゼミ編
「さくらむすび」(2022年)
川上眉山「墨染櫻」、泉鏡花「櫻心中」所収

<https://twitter.com/oitimizuno>
<https://note.com/oitimizuno/>

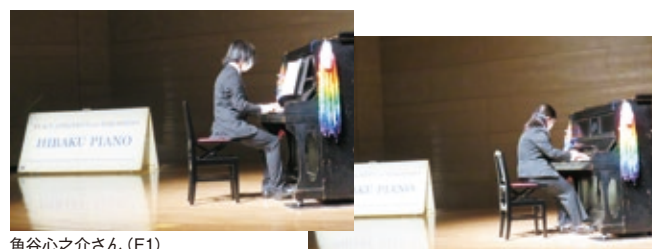


常翔学園創立100周年記念コンサートで本学の学生が演奏しました!

1月29日に常翔学園創立100周年記念コンサート「『おかあさんの被爆ピアノ』上映と被爆ピアノとふれあう会 in 常翔ホール」が開催されました。このイベントは、1945年8月6日に広島で原爆に遭った被爆ピアノに触れ合い、参加者とともに平和について考えようと企画されました。そして昨年8月から全国で公開された被爆ピアノを題材とした映画の上映と学園設置学校の学生・生徒と教員による被爆ピアノでの演奏をお届けしました。

本学からは、角谷心之介さん (E1) と目片伶奈さん (R1) が演奏してくれました。角谷さんは、『青春の瞬き』(椎名林檎) を演奏し、「馴染みのあるピアノの音色やタッチ感ではなかったもので、リハーサルではすごく戸惑いました。それを逆手に取り、当日朝にアレンジの変更を行いました。我ながら良い演奏が出来たのではないかと考えています。また、このような機会があれば是非弾かせていただきたいなと思います。」と語ってくれました。また目片さんは「ワルツ第10番」(ショパン) を演奏し、「被爆ピアノに、普通のピアノとは異なる生命力を感じ、一緒に演奏を楽しむことができました。コロナ禍でなかなか演奏ができない中、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。」と語ってくれました。

当日は、86人の観客が見守る中で素敵な演奏をしてくださいました。



角谷心之介さん (E1)

目片伶奈さん (R1)



大学院の給付制奨学金が充実しています！

本学では学生が積極的に勉学に励み、充実した学生生活を送ることができるよう、特に学内進学者向けに、独自の給付制奨学金を整備しています。これら奨学金は勉学に意欲があり、それにふさわしい能力を持った学生の経済的困難を支援するものです。

特に「大学院入学前予約採用型給付奨学金」は原則として、「学内進学者入学選考」および知的財産学部は「早期進学」の入学者も援助する制度で、大学院生を強力にサポートしています。

【大学院の主な奨学金】 学内進学者に限定。いずれも給付制奨学金。

奨学金の種類	大学院 入学前予約採用型給付奨学金		大学院 グローバル人材奨励給付奨学金		大学院 特待奨学金	
	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程
給付額 (年額)	【学科内成績最上位者】 (1年次時)57万5千円 (2年次時)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次時)37万5千円 (2年次時)30万円	【学科内成績最上位者】 (1年次時)60万円 (2年次時)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次時)40万円 (2年次時)30万円	20万円		年間授業料の 全額相当額 (102万円)	年間授業料の 全額相当額 (123万円)
採用資格	本大学院所定の入試(※1)により合格した学生で、 学業・人物ともに優秀と認められる者		本学の学内進学者および 学内進学した在籍学生で、 TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3) ただし英語を母国語としていない者 (過年度実績:550点)		学部3年次までの成績が極めて優秀で、 経済的理由のため就学が困難と認められる者で、 TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3) (過年度実績:450点)	
採用定員	採用資格を有する者		採用資格を有する者		原則、各学科1人	
給付期間	2年間 (継続審査無し)		1年間 (在学時1回限り)		2年間 (1年次末に継続審査あり)	
出願について	入試出願時に合わせて出願(※2)		4月にポータルサイトに案内		被推薦者は本学所定の入試(※1)を受験すること	

※1 博士前期課程は学内進学者入学選考、専門職学位課程は学内進学者入学選考または、早期進学による所定の入試を示す。

※2 専門職学位課程の早期進学者については、12月にポータルサイトに案内(予定)。

※3 スコアレポートの提出が必要です(得点は変更される場合があります)。TOEIC IPテストのスコアレポート可(ただしオンライン実施分は対象外)。

◆上記のほか、テラサキ奨学金(工学研究科電気電子・機械工学専攻電気電子工学コースのみ対象)があります。

◆博士後期課程の奨学金についてはHPをご参照ください。

◆奨学金制度や金額は変更することがあります。

学生相談室 だより

年を重ねるとのこと

学生相談室カウンセラー 重田 智

卒業・修了される皆さん、おめでとうございます。新生活の始まりを前に、今は期待や不安など、様々な思いを感じておられるでしょうか。これからの皆さんのご活躍を心よりお祈りしています。

さて、ご存知の方も多いと思いますが、2022年4月から成人年齢がこれまでの20歳から18歳に引き下げられます。今ちょうど18歳、19歳の方は、2022年4月1日に一斉に新成人となるわけです。小さい頃は、成人とか大人という、すごく大きくて立派な存在に見えていたのではないのでしょうか。新しく成人となる皆さん、そしてすでに成人を迎えた皆さん、今の自分は小さい頃に思っていたような成人、大人になっていますか。

『人はみな馴れぬ齢を生きている ユリカモメ飛ぶまるき曇天』(永田紅「日輪」より)

この短歌は、作者の永田が20歳の頃に詠んだものだそうですが、20歳の頃が遠い昔になった私も、この歌を聞くと、まさにその通り!という気持ちになります。成人と言われてもしっかりこない。社会人になっても気持ちは学生時代を引きずったまま。30代40代になっても、50代60代になっても、え?本当にもうそんな年になったの?と誰もが自分の年齢に戸惑い、少し居心地の悪い思いをしながら、手探りで生きていくものなのかもしれません。年相応に成熟していくことはもちろん必要ですが、同時に、若い感性や柔らかい心を持ち続けていることも大切かもしれない、そんな風にも思います。まずは一步一步、自分らしく歩いていきましょう。

工大流就職支援 ⑤4

~就職NEWS~

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの大学生活を思い返すと、様々な出来事がよみがえってくると思います。楽しかったこと、考え悩んだこと、たくさんあったことでしょう。新型コロナウイルス感染症により、就職活動を取り巻く環境にも大きな変化がありました。しかし、そうした中であっても、将来に向けて懸命に努力を重ね、本日を迎えられました。進路を考える中で、これほど真剣に自分に向き合ったことはなかったと思います。このような経験が自身を大きく成長させたことは間違いありません。どうか自信を持って、新しい舞台で大きく羽ばたいてください。

今後は大阪工業大学の卒業生キャリアサポーターの一人として、後輩たちのよき相談相手として、ご支援・ご協力いただけることと期待しています。最後に、皆さんの新天地でのご活躍を祈念いたします。